

## 関節リウマチ患者に朗報

### —リンパ増殖性疾患を発症した後のリウマチ治療にはトシリズマブが有効—

#### 【要旨】

国立病院機構(NHO)のネットワーク研究にて大阪南医療センターの病理診断科星田義彦医長が多機関共同研究を行い、関節リウマチ患者に発生するリンパ増殖性疾患の特徴について解析を行いました。その中で、リンパ増殖性疾患を発症した後の関節リウマチ治療にはトシリズマブが有効であることを示しました。これによりリウマチ治療における課題が一つ解決されました。

#### 【概要】

関節リウマチは免疫系の異常が病因となる疾患で、その治療には通常免疫を抑制したり調節したりする薬剤が用いられます。このような薬は患者自身の免疫力が低下しますので、腫瘍に対する免疫力も低下します。そのため関節リウマチ患者に発生したリンパ増殖性疾患はリウマチ治療薬の投与をやめると逆に患者の免疫力が復活し、リンパ増殖性疾患が縮小したり消失したりする事があります。しかしながらその中の3分の1の症例は1年ぐらい経過すると再増殖します。

通常、関節リウマチ薬の投与をやめるとリウマチ自体の病状の悪化につながります。このため、関節リウマチ患者がリンパ増殖性疾患を発症した場合、リウマチ治療における薬剤の選択が難しく、長い間、解決すべき課題となっておりました。

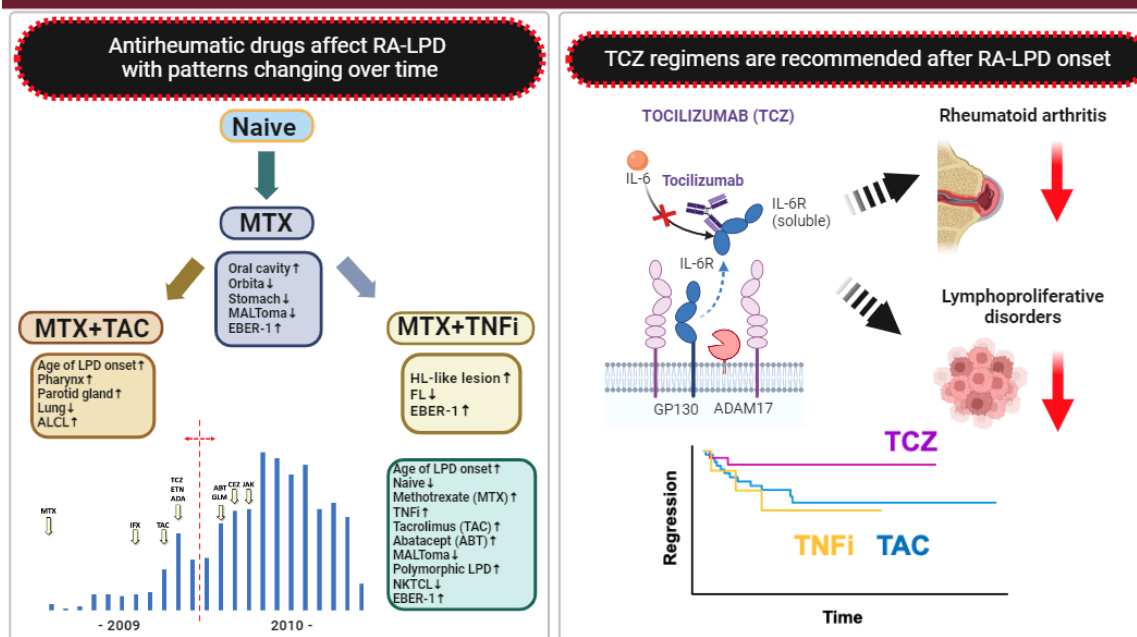
今回、大阪南医療センターの病理診断科星田義彦医長は、国立病院機構のネットワーク研究で国立病院機構の病院を中心に53の施設による多機関共同研究を実施しました。本研究により関節リウマチ患者に発生するリンパ増殖性疾患を過去22年間に発症した752例の症例につき解析し、次の2つの新しい知見を得ました。

1. 関節リウマチ患者に発生するリンパ増殖性疾患において、リンパ増殖性疾患発症前に投与されたリウマチ治療薬がリンパ増殖性疾患の特徴に影響を与える。そして時代とともに変化する薬剤の変遷に伴いその特徴が変化する。

2. トシリズマブを使用するとリウマチ薬の中止にて退縮したリンパ増殖性疾患の再増殖が起きにくい。

前者は疾患の病態を考える上での今までにない斬新な知見であり、後者は解決すべき課題に解答を与えるリウマチ治療に大変有用な情報であります。

# Rheumatoid arthritis-associated lymphoproliferative disorders (RA-LPD)



Hoshida Y, Tsujii A, Ohshima S, Saeki Y, Yagita M, Miyamura T, et al. The effect of recent antirheumatic drug on features of rheumatoid arthritis-associated lymphoproliferative disorders. *Arthritis Rheumatol* 2024.

*Arthritis & Rheumatology* ACR

## 【論文情報】

掲載論文： *Arthritis Rheumatol*. 2024 Jan 25. doi: 10.1002/art.42809. Online ahead of print. PMID: 38272827

題名： The effect of recent antirheumatic drug on features of rheumatoid arthritis-associated lymphoproliferative disorders

著者： Hoshida Y, Tsujii A, Ohshima S, Saeki Y, Yagita M, Miyamura T, Katayama M, Kawasaki T, Hiramatsu Y, Ohshima H, Murayama T, Higa S, Kuraoka K, Hirano F, Ichikawa K, Kurosawa M, Suzuki H, Chiba N, Sugiyama T, Minami Y, Niino H, Ihata A, Saito I, Mitsuo A, Maejima T, Kawashima A, Tsutani H, Takahi K, Kasai T, Shinno Y, Tachiyama Y, Teramoto N, Taguchi K, Naito S, Yoshizawa S, Ito M, Suenaga Y, Mori S, Nagakura S, Yoshikawa N, Nomoto M, Ueda A, Nagaoka S, Tsuura Y, Setoguchi K, Sugii S, Abe A, Sugaya T, Sugahara H, Fujita S, Kunugiza Y, Iizuka N, Yoshihara R, Yabe H, Fujisaki T, Morii E, Takeshita M, Sato M, Saito K, Matsui K, Tomita Y, Furukawa H, Tohma S.

URL： <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/38272827/>

## 【用語解説】

- リンパ増殖性疾患：体内のリンパ節やそれ以外の部位に免疫を担当するリンパ球が過剰に集まって塊を作る疾患。の中には経過を見て治る良性の疾患と悪性の疾患の両方が含まれる。
- トシリズマブ(TCZ)：総称名:アクテムラ。ヒト化抗ヒト IL-6 レセプターモノクローナル抗体。インターロイキン-6 の作用を抑制し免疫抑制効果を示す分子標的治療薬。

## 【本件に関する問い合わせ先】

〒586-8521 大阪府河内長野市木戸東町 2-1

独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター

【取材に関すること】管理課長 鎌田

【研究内容に関すること】病理診断科医長 星田

TEL: 0721-53-5761 FAX: 0721-53-8904

(窓口時間 平日の 9 : 00 ~ 17 : 00)